

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報											
位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。											
事務事業名	市民文化祭事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分		一般会計
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当係	文化係	係	作成者	宮本 欣英	内線(電話番号)	8430	シート作成日
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称 :)						

2 事務事業の目的												
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。												
現状課題	市民文化祭は毎年10月から11月にかけて、市民の文化活動の発表の場として、市内各所で開催されている。様々な分野にわたり、文化活動する市民と庁内担当課が協力して行っている。平成29年度は21の個別事業を行っているが、近年、参加者の高齢化や減少が進んでおり、活動の停滞を含め、今後の運営に影響が出てくることも想定される。			誰・何を対象に	市民及び文化団体			望ましい状態	活動の中心である市民の高齢化は避けて通れないが、その次の世代が積極的に参画し、既存の事業を維持してだけでなく、新たな分野の事業を立ち上げて文化祭を拡充し、さらには市民による自主運営が望ましい状態と考える。			
				どのような方法・手順で	日頃の文化活動の成果を発表する機会として、市民団体と庁内担当課が協力して文化祭の各種事業を行う							

3 事務事業の主たる成果指標												
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。												
指標名	文化祭個別事業の開催	単位	事業	目標値	21	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	市民の文化的活動は年々増加・拡大しており、その活動成果の発表の場として10月から11月にかけて文化祭を開催している。活動参加者の高齢化にともない、今後、停滞している可能性があるため、水害前の平成26年度の事業規模を将来にわたり維持していくことを目標とした。			

4 事務事業の実績 ㊦																					
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																					
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度														
	業務名			業務名			業務名			活動量											
事務事業を構成する主な業務	①	団体への参加意向調査		1回	①	団体への参加意向調査		1回	①	団体への参加意向調査		1回									
	②	※調査以降の業務は水害のため中止			②	参加団体代表者会議の開催		1回	②	参加団体代表者会議の開催		1回									
	③				③	担当課と団体との協議及び物品調整		20事業	③	担当課と団体との協議及び物品調整		21事業									
	④				④	ポスター及びチラシ作成		1回	④	ポスター及びチラシ作成		1回									
	⑤				⑤	個別事業の準備・開催		20事業	⑤	個別事業の準備・開催		21事業									
	⑥				⑥				⑥												
	⑦				⑦				⑦												
	⑧				⑧				⑧												
	⑨				⑨				⑨												
	⑩				⑩				⑩												
	⑪				⑪				⑪												
	⑫				⑫				⑫												
	目標値に対する実績値			0	事業	目標値に対する実績値			20	事業	目標値に対する実績値			21	事業						
決算額	計	39,543 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	39,543 円	計	581,953 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	581,953 円	計	541,977 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	541,977 円
	(住民一人あたりの行政コスト)			1 円	(住民一人あたりの行政コスト)			10 円	(住民一人あたりの行政コスト)			9 円									

5 担当者評価 ㊧											
実施したことによる成果や問題点を記入してください。											
成果	ほぼ目標どおり			成果内容	水害前の水準となる21事業を実施できたことは、当事業において市民が水害の被害から立ち直りつつあることを示しており、今後も事業を継続していくための一定の目的が立ったと考えられる。						
問題点	平成29年度は、開催期間中に衆議院議員選挙が急ぎよ入ってしまったことにより、日程調整と会場確保がかなり厳しいものになってしまい、参加団体によっては大きく計画を変更せざるを得ないところも出てしまった。全体的には文化活動する市民の高齢化により担当課の負担が増えてきており、実施体制の見直しも急務である。										

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨											
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。											
事務事業の方向性											
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	団塊の世代の大量退職に伴い、創作や文化活動のみならず、様々な自主的活動の場の確保が必要とされている。その活動発表の場として本事業が位置付けられるため、拡充と評価したいところであるが、財政的な面も考慮し現行どおりと評価した。										

7 実施計画 ㊩															
今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。															
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 団体への参加意向調査(6月頃) 参加団体代表者会議の開催(7月頃) 担当課と団体との協議及び物品調整 ポスター及びチラシ作成 チラシについては10月に全戸配布予定 ポスターは公共施設や参加団体による掲示を行う 個別事業の準備・開催 開催期間は10月中旬から11月中旬 会場は、地域交流センター、生涯学習センター、水海道公民館など市内各所で実施する 			<ul style="list-style-type: none"> 団体への参加意向調査(6月頃) 参加団体代表者会議の開催(7月頃) 担当課と団体との協議及び物品調整 ポスター及びチラシ作成 チラシについては10月に全戸配布予定 ポスターは公共施設や参加団体による掲示を行う 個別事業の準備・開催 開催期間は10月中旬から11月中旬 会場は、地域交流センター、生涯学習センター、水海道公民館など市内各所で実施する 			<ul style="list-style-type: none"> 団体への参加意向調査(6月頃) 参加団体代表者会議の開催(7月頃) 担当課と団体との協議及び物品調整 ポスター及びチラシ作成 チラシについては10月に全戸配布予定 ポスターは公共施設や参加団体による掲示を行う 個別事業の準備・開催 開催期間は10月中旬から11月中旬 会場は、地域交流センター、生涯学習センター、水海道公民館など市内各所で実施する 								
	歳出	計			615 千円	歳出	計			615 千円	歳出	計			615 千円
		特定財源			0 千円		特定財源			0 千円		特定財源			0 千円
	歳入	一般財源			615 千円	歳入	一般財源			615 千円	歳入	一般財源			615 千円
	計			615 千円		計			615 千円		計			615 千円	

8 財務アドバイザーの見解											
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。											

9 行政改革懇談会(市民)の意見											
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。文化の香り高い品のある市づくりのため、大いに推進していただきたい。											

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪											
事務事業の方向性											
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止											
評価理由	文化祭事業は、参加者の高齢化に丁寧に対応しながら、文化活動の活性化を促し、市民の活動や発表の場として継続すべき事業である。										

11 事務事業の改善理由 ㊫											
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。											
事業内容	市民の活動や発表の場であることから、現行予算の範囲内で引き続き行っていく。文化祭参加者の高齢化により、個々の事業の運営が今後厳しくなることが予想されるが、引き続き庁内の各課かい所に協力を仰ぎながら事業を継続していく。										